



セブンアイランド 乗船のご案内			出発時刻 Departing Time
船名 Ship Name	行き先 Destination	乗船場所 Boarding Place	
	大島 OSHIMA	B-1 GATE	8:15
	大島 利島 新島 式根島 神津島 OSHIMA KOJIMA NIIJIMA SHIKINEJIMA KOZUSHIMA	B-1 GATE	8:30
	大島 OSHIMA	B-1 GATE	14:15
			:

NIJIMA

行くしかないよ！大島！



用意できた時間は一日...

ずっと、時間ができず長い間自転車に乗れていなかったのですが(ていうか、寒くて乗りたくないんですが)、突然ロングライドをしたい衝動に駆られ大島に行こうと決めました。

当日の一番早い便はこちら、

行 東海汽船 1210

東京 08:15発 大島 10:00着

帰りは**15:30分**までには帰らないと次の日の授業に間に合わない!!!

帰1 東海汽船 2000

大島 15:30発 東京 19:45着

帰2(欠航) 東海汽船 2230

大島 15:55発 東京 17:40着

下船と自転車の組み立てに**30分**

帰りのチケットを買う時間と自転車を輪行袋にしまう時間、乗船にかかる時間を考えると**30分**

合計1時間は余裕を見ないといけません。

つまり大島を一周するのに残された時間は4時間...



おみやげとご飯を食べる時間を考慮するとすこし厳しい感じでした。

しかし、大島一周は約**56 k m**つまり**Ave.17km**出せればいける！！！！！！！！

そう思い、夜中の3時に家を出てした道で竹芝栈橋にきてチケットを買いました。

出航まで一時間...ヒマすぎ...でも激安駐車場をおさえるにはしかたなかった...

私の友人で分かる人にはわかる横浜のベイブリッジを沖から眺めながら大島に向かいます



そして少し遅れて大島に到着！！！！



降水確率50% 雷警報が出ていて心配でしたが残りの50%に何とか当たったみたいです。

自転車を組み立て大島一周道路に出たときにはすでに11時...ぎりぎり間に合うかという感じです。

町並みはすごくきれいで時間がゆっくり流れているように感じました。元町港をでて大島一周道路にあたりましたのでとりあえず岡田港方面（時計回り）に回ることにしました。

元町港をでてすこしして迎えてくれたのは坂



そして坂





激坂とまではいきませんが、長い間自転車に乗ってなかった僕の足はすでに悲鳴を上げていました。

岡田港をこえ、都立大島公園につき売店のおじさんと話した時の会話の流れがこちらです



おじさん「自転車で来たのかい？」



僕「あ、はい。ちょうど元町港から時計回りで大島を一周しようと思って」  
おじさん「そうかい。昨日までは自転車の人がすごかったんだけどねえ。まあ、一周できるとい  
いねえ」  
僕「え...リタイヤしちゃう人とか多いんですか？」  
おじさん「みんなだいたいここまでは元気なだけだねえ。ここからの16k mがきついみたいなん  
だよねえ」  
僕「はあ...」  
おじさん「ここからが一番の難所だからね、波浮港を超えれば元町港まですぐだから頑張ってね  
」  
僕「頑張ります！」  
おじさん「ほっほほ、そうかい」  
おじさん「これからあれくらいの山が2つ。そこから砂漠がみえたら2k mの平坦な道・・・」  
おじさん「そしてちょっと小さい山が1つ」  
おじさん「波浮港を超えたら元町港まで下り半分の今来た様な道だから、頑張ってね」  
僕「それは、やばそうですね...（やけに詳しいな）」  
おじさん「ほっほほ、ここが山場じゃよ」  
おじさん「ほっほほ、じゃあ」  
僕（...ラスボスを紹介する爺さんみたいだったな..）

その爺さんが指さしていた山がめっちゃ高い

んんん————（汗（汗（汗

なまっている僕の足にはつらそうな山でした。



そこからおじさんの言う通り16k mは結構な傾斜の坂が続きました。  
下から見るとファインダーに道路が収まらないくらいなので上からとりました。ミニ激坂??  
走ってみた感想は不動峠3本と同じくらいのつらさでした。  
途中で見える景色は絶景です！





途中で、一輪の花が咲いている基準点を見つけました。儂い...



三原山は割とガチな活火山なので、待避所みたいなのが随所にあります。





波浮港手前でちょうど半分くらい

この後、

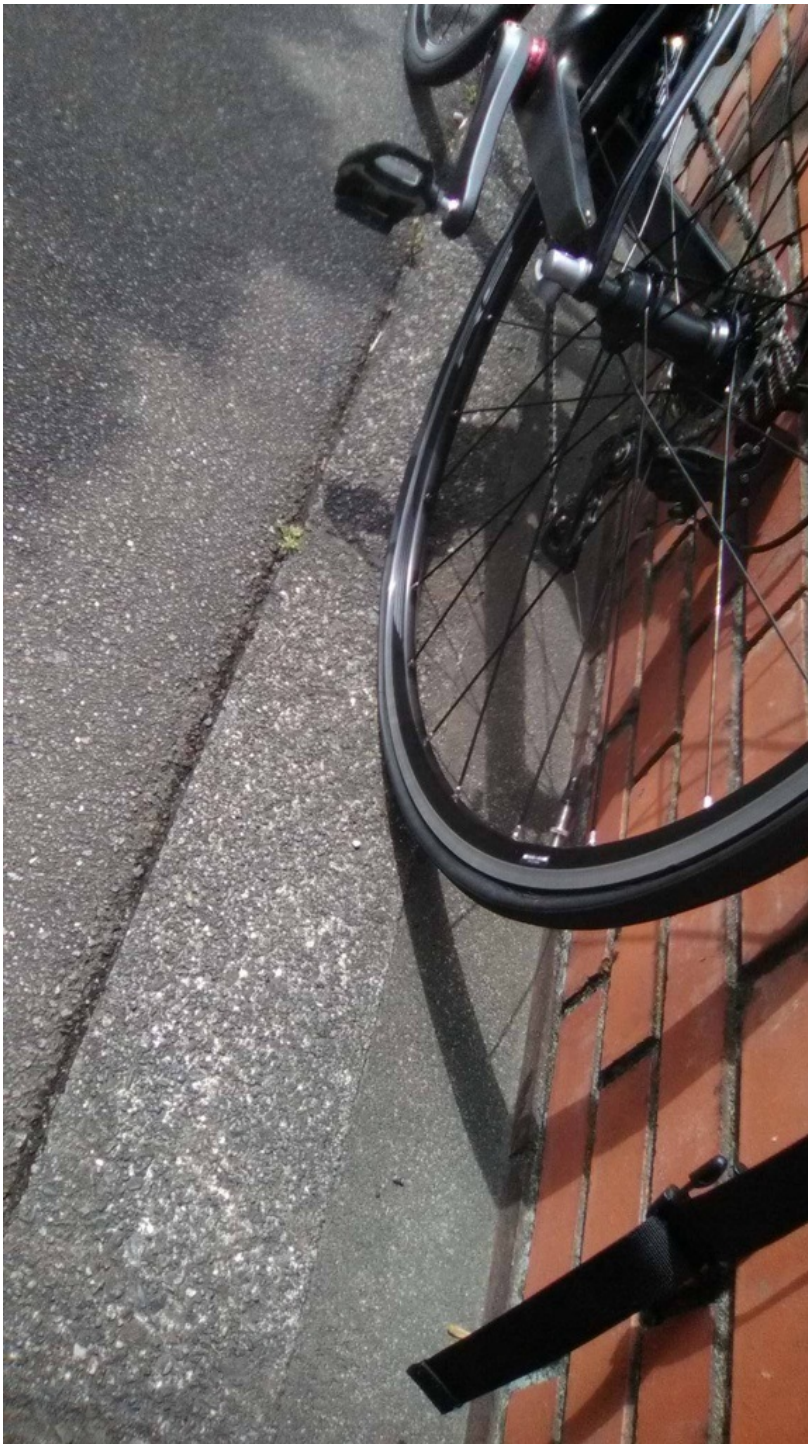
波浮港直前にある筆島

よくわからん詩（有名ならしい...文学の遊歩道）

観光スポット：地層

の写真を撮ったあたりで、パンク....



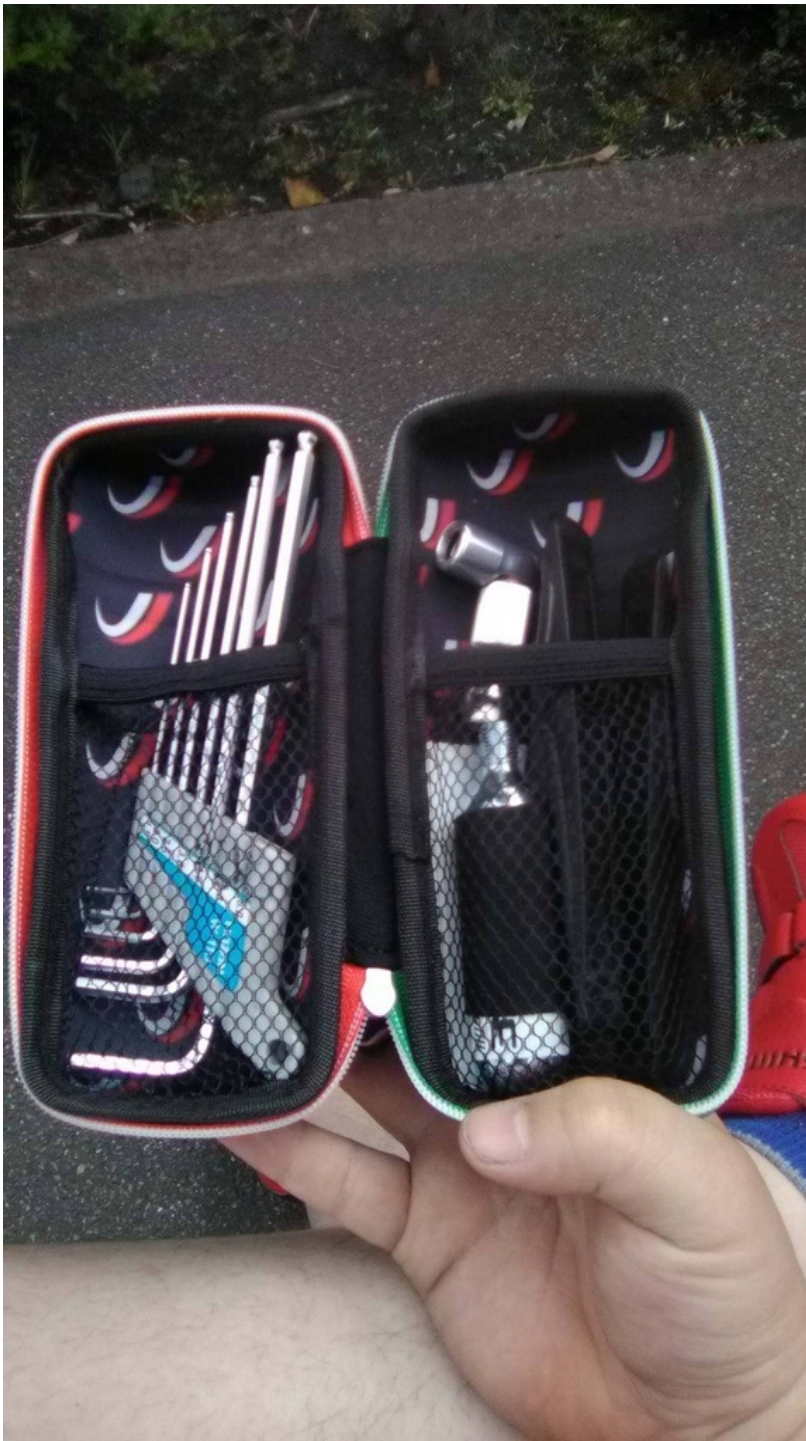


同時に、チューブを忘れていたことに気付く...

修理できないじゃん！！

帰りの船まであと**1.5時間**やん！！！！





帰りの船のためタイヤとチューブ（あとホイール？）犠牲にすることを覚悟しパンクした状態で元町港に向かいました。（最初はあきらめきれずダッシュしましたがすぐ心が折れました）

ここからは観光スポットもなくほぼ下り（丘みたいなのが1つ）だったのでなんとか帰り、チケットをかうことができました。（本当に助かった...）  
激しい疲労のため写真ぶれぶれ

前半に密度が集中しすぎている感がある大島でしたが。

今度は泊りで行きたいです！！！！

動物園とか植物園、椿園が無料な上、宿泊補助が3000円も出るんですよ！！！！行くしかないよ！！大島！！